

# 祭りにはみんな家族になれるまち

▼満開の桃の花の下  
で雅楽を聴く集い



▼踊って踊ってサマーフェスティバル



▲つつこ引きまつり。つつこを三方に引き合う。

保原の一年は、祭りと共に過ぎていきます。

まだ寒さの残る三月、その勇壮さを県下にうたわれる巖島神社の奇祭「つつこ引き」が行われます。この祭りには約二八〇年の伝統があります。

春たけなわの五月、赤坂の里森林公園で、ほばらふる里まつりが行われます。数百匹のこいのぼりが、青空に泳ぎます。

夏真盛りの八月、陣屋通りでのサマーフェスティバルをはじめ、町内各地で夏祭りが催され、盆踊りの太鼓が夜空に轟きます。

十月には、保原の秋の風物詩・神明宮の秋祭りが行われます。鈴なりにぼんぼりをつけた華やかな山車や、みごとな彫りを見せる荘厳な山車など、町内の若連が思いの山車をくり出します。